

会議録

会議の名称	第5回 清須市総合計画審議会
開催日時	令和元年11月14日(木) 午前9時30分～午前10時48分
開催場所	清須市役所 南館3階 大会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 清須市第2次総合計画 後期基本計画(案)について (2) 清須市第2次総合計画 後期基本計画の策定に関する答申(案)について 3 答申 4 市長あいさつ 5 清須市第2次総合計画 後期基本計画の推進に向けて 6 閉会
会議資料	<p>会議次第、委員名簿、配席図</p> <p>[会議資料]</p> <p>資料1 清須市第2次総合計画 後期基本計画の策定のながれ</p> <p>資料2 第4回 総合計画審議会における主な意見等</p> <p>資料3 清須市第2次総合計画 後期基本計画(案)に係るパブリック・コメントの実施結果</p> <p>資料4 第4回 総合計画審議会での意見等を踏まえた主な修正点</p> <p>資料5 清須市第2次総合計画 後期基本計画(2020-2024)(案)</p> <p>資料6 清須市第2次総合計画 後期基本計画の策定に関する答申(案)</p> <p>参考資料1 清須市第2次総合計画 序論</p> <p>参考資料2 清須市第2次総合計画 基本構想</p>
公開・非公開の別(非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	福田委員、水野委員、飯田委員、時田委員、堀田委員、後藤委員、渡辺(玲)委員、野田委員(会長)、水谷委員(副会長)、山田委員、齋藤委員、前田委員、高山委員

欠席委員	加藤委員、河野委員、渡辺(康)委員、浅田委員
出席者(市)	永田市長、葛谷副市長、齊藤教育長、宮崎企画部長、平子総務部長、石田市民環境部次長兼産業課長、河口健康福祉部長、永渕建設部長、吉田会計管理者、浅田議会事務局長、石黒教育部学校教育課長、三輪監査委員事務局長
事務局	〔企画部企画政策課(企画政策係)〕 後藤課長、服部課長補佐兼係長、河村副主幹、石附主査
会議録署名委員	渡辺(玲)委員、山田委員
<p>1 開会</p> <p>(後藤企画政策課長)</p> <p>それでは、お待たせをいたしました。</p> <p>ただ今から、第5回 清須市総合計画審議会を開催いたします。</p> <p>皆様には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は企画政策課長の後藤でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、委員の出席状況についてご報告をさせていただきます。</p> <p>本日、加藤委員、河野委員、渡辺康子委員、浅田委員から欠席の報告を受けておりますが、委員の過半数以上の方が出席されておりますので、清須市総合計画審議会設置条例第6条第2項の規定によりまして、本会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>なお、この会議は、清須市附属機関等の会議の公開に関する要項第3条の規定により、公開会議となっておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、最後の審議会となりますので、答申の終了後、永田市長からお礼の言葉を申し上げたいと思っております。</p> <p>それでは、議事の進行を野田会長にお願いします。</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 清須市第2次総合計画 後期基本計画(案)について</p> <p>(野田会長)</p> <p>皆様おはようございます。本日は、最終の総合計画審議会でございます。</p> <p>最初に、会議録署名委員の指名をさせていただきたいと思っております。</p> <p>前回までの会議では後藤委員までご署名をいただきました。今日は名簿の順に、渡辺玲子委員と山田委員に署名委員としてお願いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入っていきますが、資料1にありますとおり、本日は最終の審議会となっておりますので、審議の終了後、第2次総合計画の後期基本計画の策定に</p>	

ついて、審議会から永田市長への答申を行う予定ですので、よろしくお願いいたします。

まずは、前回の審議会における主な意見等やパブリック・コメントの実施結果、また、それらを踏まえた第2次総合計画 後期基本計画の修正案について、事務局から一括してご説明をお願いいたします。

(石附企画政策課主査)

【資料1～資料6を説明】

(野田会長)

ありがとうございました。

今ご説明いただきましたけれども、この後期基本計画案をもう1回最後にご確認いただきまして、これでよろしければ確認いただいたということになります。

その後、この計画案を答申するというので、答申の文案についても見てもらいます。

その後に少しだけ休憩させていただいて、答申という形にしたいと思います。

こういったながれで、まずは今ご説明いただいたことですが、今日は最後の審議会ですので、ここでもし修正意見等が出ました場合は会長預かりとさせていただいて、事務局と相談の上、修正させていただき、修正したものを後日皆様に郵送させていただきたいと思います。

それでは皆様、ご意見やご質問等はございますでしょうか。基本的には資料5についてですが、せつかくですので、そこに至る過程について質問等があっても構わないと思います。いかがでしょうか。山田委員、お願いします。

(山田委員)

山田でございます。資料2の前の意見をしっかり修正していただいていることを確認いたしましたので、私としましてはこの内容で良いのではないかと思います。

(野田会長)

ありがとうございます。

皆様いかがでしょうか。何かございましたら。質問でも結構です。

(高山委員)

高山でございます。私も資料5の案については特に触れないのですが、パブリック・コメントの資料3、パブリック・コメントの意見に対する市の対応ということで、明日以降、ホームページで公表されるということなのかもしれませんが、文

言上のことかもしれないのですが、例えば資料3の1ページ目の右側、「(3) 計画の推進」のところで、中段辺りに「積極的に行政出前講座を開催するなど」と書いてありますけれども、何となく回数だけ重ねれば良いのかなと、そんなふうに読めてしまうので、内容も充実させるとか、一言付け加えておかれた方が良いのかなと思います。

また、その下の「(4) 子育て支援」のところで、意見として出ているのは、近隣のクリニックやお店などの駐車場を借りられないかということなのですからけれども、これ自体は市として可能なのでしょうか。右側の対応としては、「様々な方法により確保に努めてまいります」というふうに書いてあるので、これも具体的に含めて様々な方法と言っているのかなとか、そのところで若干細かいところですがけれども疑問に思いました。

(野田会長)

ありがとうございます。計画そのものはこれで良いということなので、それに至るパブリック・コメントのところですね。

一つ目は、確かに内容に関して充実させるという、それに関わるような文言を追記していただければ良いかなと思います。

二つ目は、非常に具体的な話ではあるのですが、何か現時点で説明できる部分はございますでしょうか。

(石附企画政策課主査)

パブリック・コメントの子育て支援に関わる部分のご意見ですがけれども、保育園も以前は車での送り迎えはあまり想定していなかったというような状況もありまして、時代の変化とともに、それが変わってきているということで、駐車場の確保が必要になってきているという現状があります。

その中で、今高山委員が言われましたように、この意見にあります近隣の店舗などの駐車場を借りるということも、もちろん確保の方法の検討の中には入ってございますし、また、近隣公共施設の駐車場を使えないかとか、色々な面から検討をしていきたいと思っています。

(野田会長)

今お伝えできるのは、そういう内容であるということです。

(高山委員)

ありがとうございます。正直なところ、4通というのは寂しい気がするのですが、それだけ平和なのかなという気もしますけれども、ありがとうございました。

(野田会長)

他にどうでしょうか。

それでは、よろしければこの第2次総合計画 後期基本計画の内容をもって、当審議会として取りまとめることとしたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。

「異議なし」の声

(野田会長)

ありがとうございました。それでは、この内容で委員の皆様のご了承を得たものとしてしたいと思います。

2 議事

(2) 清須市第2次総合計画 後期基本計画の策定に関する答申（案）について

(野田会長)

そうしましたら、次に議事の二つ目の方ですね。「清須市第2次総合計画 後期基本計画の策定に関する答申（案）について」、これは資料6、1枚ですけれどもご覧ください。

これまでの審議会の議論を踏まえまして、このような形でこの案を文言どおり、この後、永田市長に答申を行いたいと思っております。

特に、後期基本計画におきましては、まち・ひと・しごと創生総合戦略を一体的に策定するというようになっておりますので、地方創生に向けた基本目標を新たに定めていることを踏まえまして、将来にわたって活力ある、持続可能なまちづくりを進めることと、それから、市民の皆様とのつながりを大切にした市政運営に努められることを申し添えたいと思います。

こういった一枚ものの文書でございますが、皆様いかがでしょうか。

1段落目は、審議を重ねて取りまとめたこの計画を答申しますという話ですね。

後半は、まち・ひと・しごと創生の話とともに、市民とのつながりを大切にしていきたいということを書いております。

それでは皆様、いかがでしょうか。

「異議なし」の声

(野田会長)

ありがとうございました。

そうしましたら、この後、永田市長に答申書をお渡ししたいと思います。

少し早いのですけれども、ここで一旦休憩を取らせていただきたいと思います。大体10分くらいというふうに考えております。今時間が9時55分ですので、10時

5分くらいまで休憩を取らせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

3 答申

(後藤企画政策課長)

それでは、少し早いですけれども皆様おそろいでございますので、ただ今から会議を再開させていただきたいと思っております。

それでは、ただ今ご了承をいただきました答申書につきまして、野田会長から永田市長にお渡しさせていただきたいと思っておりますので、永田市長、前の方へよろしくお願いいたします。

(野田会長)

清須市長 永田 純夫 様

清須市総合計画審議会会長 野田 遊

清須市第2次総合計画 後期基本計画の策定について答申します。

平成30年7月25日付けで諮問のありました、清須市の総合的かつ計画的な行政の運営を図るための清須市第2次総合計画の後期基本計画の策定について、総合計画の進捗状況や社会情勢の変化等への的確な対応とともに、地方創生を推進する観点から、当審議会において慎重に調査審議を重ねた結果、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

なお、本答申とあわせて、少子高齢化の進展に的確に対応し、将来にわたって活力ある、持続可能なまちづくりを進めるとともに、計画の策定過程において実施した「市民参画会議」や「市民満足度調査」等における市民の意見等を十分参考にするなど、市民とのつながりを大切にした市政運営に努められるよう希望します。

答申書を手交

(永田市長)

ありがとうございます。

(野田会長)

よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(後藤企画政策課長)

ありがとうございました。野田会長、永田市長、席にお戻りください。

4 市長あいさつ

(後藤企画政策課長)

それではここで、永田市長からお礼のごあいさつをさせていただきます。
永田市長、よろしく申し上げます。

(永田市長)

改めましておはようございます。

ただ今野田会長より、第2次総合計画の後期基本計画の答申書を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。

皆様には本当に長期にわたってご審議を賜りました。先ほどお話がございましたが、第1回の会議が昨年7月ということで、1年をまたいで5回の審議会ということで、本当に委員の皆様方にはお忙しい中、慎重にご審議を賜りました。重ねて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

この答申書の後段にも記載をしていただいたように、今、清須だけではないのですけれども、全国の市町村で本当に少子化や高齢化、それ以外にも人口減少社会ということで、清須はおかげさまでまだそういう状況には至っておらんわけでございますけれども、近い将来必ずやって来るということでございます。

福祉、教育、基盤整備、そして何よりも、今回台風15号と19号で日本全国、本当にひどい大災害になってしまいました。清須も既に応援体制で派遣をいたしておりますけれども、やはり災害に強いまちづくりはどこも喫緊の課題でございます。急務であると思っております。

今回は総合計画の中で、安全で、安心して、元気な清須を目指していくということでご提言を頂戴いたしました。職員共々、しっかりとこの実現に向けて頑張ってもらいたいと考えております。本当に長時間にわたり、ありがとうございました。

今回でこの審議会は終了ということになりますけれども、どうぞ委員の皆様方にはこれからも引き続き、市政各般にわたりましてご指導、またご助言がいただければと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、今日、急に寒くなってまいりました。夜はもっと寒くなるようでございますけれども、どうぞお体には十分お気をつけいただきまして、ますますご活躍をされますことを祈念申し上げ、御礼のごあいさつとさせていただきます。誠にありがとうございました。

5 清須市第2次総合計画 後期基本計画の推進に向けて

(後藤企画政策課長)

本日は最後の審議会でございますので、来年度から始まる清須市第2次総合計画の後期基本計画の推進に向けまして、委員の皆様からコメントをいただきたいと思っておりますので、野田会長に取り回しをお願いいたします。

(野田会長)

答申を今終えたわけですが、最後にお一人ずつ、2、3分以内くらいでご意見をいただきたいと思います。これまでの審議を通じての感想、あるいは後期基本計画に基づいた行政運営を進めるにあたってのご要望、その他も含めてで結構でございます。各委員お一人ずつ、お言葉をいただきたいと思います。

2、3分以内でということなのですけれども、順番は福田委員から順番にお話いただいて、堀田委員までいきましたら今度は後藤委員に戻っていただいて高山委員まで、その後に水谷副会長、最後に私もお伝えしたいなと思います。それでは、まずは福田委員からよろしくをお願いします。

(福田委員)

失礼いたします。本当に毎回、膨大な資料をご用意いただいた企画政策課の皆様、それからスムーズな議事進行をしていただいた会長先生に、まずは感謝を申し上げたいと思います。

まちづくりのために、安心・快適・魅力・連携というような大きな市のビジョンがあるわけですが、そういうまちづくりのために色々なお立場からの貴重なご意見を拝聴できたことは、本当に私にとって視野が広がり、勉強になりました、ありがとうございました。

特に、地域の色々な団体では、行政については縦割りだとか、それから職員さんも2、3年経てば担当が替わるから、あまり真剣に取り組まないよとか、地域ではそんな声が聞こえるのですけれども、今回このメンバーに入れていただいて、いやそうじゃないんだ、このようにワンチームで、真剣に新しいまちづくりを考えておられる。こういう状況を、正しい情報を皆様にお伝えしたいなということを思っております。

最後に、要望といいますか、人を育て・つなげる、そういうところの面で、後期高齢者も社会とのつながりとか、生きがいづくりということで、講演を聞いたり、講座を受けたり、それからボランティアをしたりという、そういうことで社会とのつながり、生きがいづくりをしていきたいなと思うのですが、そういうところで「参加しませんか」と言うと、「だって足がないもの」とか、そういうふうに皆様よくおっしゃいますので、皆が社会とつながって、生きがいづくりができるような、そのための足の確保、「あしがるバス」があるじゃないかというのですけれども、行きたい時間に行けないとか、帰りたい時間に帰れないとか、個人の色々な希望はあるでしょうけれども、施設とかそういう所へ行ける便宜をこれからも図っていただけたら、もっと高齢者も社会とのつながり、生きがいづくりができるのではないかなというふうに思っております。以上です。本当にありがとうございました。

(野田会長)

ありがとうございました。

続きまして、水野委員、お願いします。

(水野委員)

私は農業委員会の出でございますので、先ほど市長さんの方から河川の問題、台風の話が出ましたが、市内には庄内川、新川、五条川という一級河川があるのですけれども、今般の災害を見ると、もっと小さな河川でも氾濫して被害が起きているということもあります。整備する方法はあると思いますので、スピード感を持ってこれらも対応していただきたいというふうに思っております。

これに付随するのですけれども、私どもは農地管理をしているわけですが、特に水田における保水能力等、河川を補完する能力を持っているものについては、今回の計画でも緑地帯を設けてやるような方法で適確に処理されているのですけれども、やはり水田はできることなら確保していきたいというふうに思っております。

ただ、最近地域の農家の方々から、農地の利用についてもっと自由にさせてくれという要請がかなり出ておりますので、それについても水田は残しながらも、畑地的なところは若干の開発も許しながら、清須市の発展に資していただきたいというふうに思っております。

それから、余分な話ですけれども、本文中にもリニア効果なんていう言葉が多々出てくるわけでございますので、清須市が狙うのであれば、観光的にやれる方法はあるので、今回は文言等が出ておりませんが、この後期計画の間に目玉的な観光も作りながら、清須市がPRできるようにしていただけたらと思います。

それから、7万人という市のあり方ですけれども、将来的にずっとこのままでいいのか、若干もう少し大きくするのか、また、隣の北名古屋市であったような、名古屋市にくつつくのか。これもやはり、計画策定としては何らかの表現をしながら、市の方向性を描いていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

(野田会長)

ありがとうございました。

続きまして、飯田委員、お願いします。

(飯田委員)

寿会を担当しております飯田でございます。この答申案の中には、少子高齢化について非常に力強い文言が記載されておりますので、私は非常に心強いと感じております。

しかし、今は人生100年時代ということが盛んにあちらこちらで言われておまして、今後さらに高齢化が進むということで、市の行政といたしましても、今後色々

な災害等の被害を防止すると同時に、高齢者に対する取組と申しましょうか、援助と申しましょうか、そういうところについてお力添えをお願いしたいと存じます。

本当に一生懸命やられておるご努力に対して、敬意を表したいと思います。以上です。

(野田会長)

ありがとうございました。

続いて、時田委員、お願いします。

(時田委員)

私は社会福祉協議会の代表として、この計画の策定に参加させていただいたわけですが、今回の後期基本計画につきましては、大変多くの内容が入っております。

私どもの考えからいきますと、福祉の充実の部分が非常に多く、盛りだくさんの内容になっており、この計画の下に、それぞれに関連するところで新たな計画が作られて、実施されていくものだと思っております。

社会福祉協議会の立場で言わせていただきますと、社会福祉協議会としては地域福祉の充実を図っていききたいと、このように思っております。それにつきましては、それぞれの市の計画の下で、地域においてどのような福祉のまちづくりができるかということで、推進をしていくものでございます。

それにおきましては、やはり市の方の協力を得て、全体的な計画書を作っていただきまして、それに基づいて地域にそれぞれ指導員、ソーシャルワーカー等を置いて、町内における地域福祉の組織づくりをしたいと、このように思っております。それには市の方の協力が必要となりますので、またその時にはお話をしてみたいと思っておりますので、その時は一つよろしくお願ひしたいと思ひます。

今回の計画は非常に膨大でありますけれども、実現できるように私どもも微力ながら一緒に頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひをいたします。

(野田会長)

ありがとうございました。

続いて、堀田委員、お願いします。

(堀田委員)

商工会の会長を務めている関係上、商店の立場とか、小さな町工場の立場から計画を見ていましたが、そういう文言はちらちら見えておりますけれども、残念ながら具体的なものがほとんど出てこないということで、少々寂しいなと思っております。

す。

もともと商工会というのは、全部ではありませんが、町の商店、各字にあった発展会というのがありまして、そういう人たちの代表が集まって商工会ができたのが昭和の 30 年代後期の頃です。その頃に比べると、今は商工会の会員さんもどんどん減っておりまして、ほとんどが廃業や死亡でありまして、跡継ぎがないという現状で、これは致し方がないかなとも思っておりますが、幸いに、これは観光協会さんの方の立場でもありますけれども、お城と貝塚がありますので、そういうものを基に、観光を含めた商業の発展もやれたら良いなと思っております、これも市の方の協力ができないのですけれども、ぜひそちらの方も併せてこれから検討していただくとありがたいなと思っております。

ただ、細かいところを見ると、本当に清須も良くなっているにつくづく思います。保育園なんかでも、私は孫が 9 人いるのですが、上はもう 21 歳ですけれども、下は今小学校 1 年生で、娘の方と息子の方を合わせて 9 人いまして、もうちょっと早くこういうことをやってくれると助かったのにといつも思っているのですが、清須も本当に良くなっていくなということを実感しております。ぜひこの計画どおりに実現することを切にお願いいたします。以上でございます。

(野田会長)

ありがとうございました。

続いて、後藤委員、お願いします。

(後藤委員)

私は清須市体育協会の会長をさせていただいております、後藤と申します。

どうしても立場上、スポーツ施設とか、そんなことばかり言っているのですが、この第 2 次総合計画の後期基本計画の会議に入れていただいて、色々皆様のご意見をお聞きして、自分の視野の狭さを痛感しているところでございますが、どうしても視野の狭い中の運動施設について、ものを言いたいなというところがあります。

清須市の中で、我々体育協会の会員でスポーツをしている人たちというのは、学校とかそういった施設をお借りしてやっています。専用のグラウンドとか、施設とかそういったものが少のうございまして、本当に些細な話なのですが、昨日たまたま私も清洲東小学校でソフトボールのナイターをやっているうちに、うちの若い子が大きな飛球を打って、西側のマンションの駐車場にボールを打ち込みました。そのこの住人の方に、「ここは小学校のグラウンドじゃないのか。大人がやっているといいのか。」というようなことを言われました。

今日の朝、早速スポーツ課さんにそういう報告をさせてもらったのですが、あそこにアパートが建つ時にはそういう説明もしてあって、ここでソフトボールをやるよというようなこともご説明いただいているみたいなのですが、さりとて

そういう事例があれば、ネットを高くするとか、そのような対策も含めて、他のグラウンドでもそのようなことがあるのではないかなと思います。よく古城のグラウンドなんかでも、ファウルボールが民家の方へ飛んでいったりとか、そういった話をお聞きます。そういった対策も、細かな話ではありますけれども、我々スポーツをする人間としては、そういったことも将来的に考えていただけるとありがたいなと思います。

欲をいえば、専用の施設ということで、一番最初の会議の時にも勝手な妄想を述べさせていただきましたが、総合運動公園というようなものを作られて、最近グローバルな大会とかそういったものも色々出てきて、そんなものが誘致できると清須の名前ももっと売れるのではないかなということも思っています。私の夢です。皆様、色々聞いていただきましてありがとうございます。

(野田会長)

ありがとうございました。

続いて、渡辺玲子委員、お願いします。

(渡辺(玲)委員)

「手をつなぐ親の会」の渡辺と申します。障害を持つ親の会の代表になって十数年経っております。

障害といっても色々な障害があって、小さいお子さんから高齢の方まで、様々な悩みを聞いておりますと、好きで障害を持って生まれてきたわけではないので、どうしたものかなというのは本当に常々思っております。この会議に入れていただくにあたって、どうしたら良い市になっていくのかなと、ずっと考えております。

それはやはり、障害のある人もない人も同じ地域と一緒に、共生社会というのですかね。そういうことを一番望んでいるというのが本当に皆様の希望であります。

それについては、良き支援者に恵まれ、協力していくということなのでしょうけれども、それ以上に私たちの方も、「障害があるからしょうがないわ」という、そういう気持ちではなくて、社会の方に自分から進んでいくことも必要なだろうなと私は思っております。自分の方から社会貢献をしていかななくてはいけないだろうし、そういうことも必要になってくるのだろうなと私は常々考えていまして、そのために何をしたら良いのだろうと思って、ずっと毎日考えながら生活しています。

少しでも親としての立場を皆様に、市民の方に理解していただけたら良いのかなと思ったりするのですね。今回のように大きな災害が起きたりすると、どうしても障害があると弱者になってしまうのですね。新聞なんかを読んでいると、耳が聞こえないために情報が得られなかったりとか、パニック障害を持っているので同じ避難所の中では生活していけないということをよく聞きますし、そういう時には本当にどうしたら良いのだろうということを今回すごく考えさせられましたので、防災

の方もきちんとしていただきたいなというのは、本当に希望するところです。

私たち親としても頑張っていきたいと思いますが、そこには近所の方の手助けも本当に必要になってくることだと私は考えておりまして、絶対に孤立をしないように、そのためには自分の方から話しかけていくことも必要だと思っています。

例えば、ぼーっと見ていると「変な人が見ていた」と通報されたりということもあったりして、やはりそれは近所の連携が取れていないとそういうことになったりすると思うので、取り留めのないことを言ってしまいましたけれども、地域で一緒に生活していけたら良いかなということです。以上です。ありがとうございました。

(野田会長)

ありがとうございました。

続いて、山田委員、お願いします。

(山田委員)

山田でございます。第2次総合計画の後期基本計画の策定に参加させていただきまして、ありがとうございました。

丸々1年続けさせていただいて、自分自身の意見をきちんと行って、それをもう1回考え直して、言ったことに責任を取らないといけないなど、最近思っているところでございます。

これでこの先5年間の方向性というのをしっかり作っていただけたということですので、行政改革委員会といたしましては、それがどのように推進されていくのか、進捗状況をしっかり精査して、また意見を言わせていただきたいと思います。

それと同時に、こういった計画を作るにあたって、非常に多くの資料を出していただいた事務方の皆様、ありがとうございます。

それを見るにつけて、この地域が他地域、他府県に比べて非常に恵まれた地域であるということは再認識するところでありまして、人口が増加しているなんていうのは、他府県にはない地域であります。

この状況を更に続けて、より良い状態で生活できればと思います。

参加させていただきまして、ありがとうございます。

(野田会長)

ありがとうございました。

続いて、齋藤委員、お願いします。

(齋藤委員)

齋藤でございます。東海豪雨から来年でちょうど20周年にあたります。その当時はまだ清須市ではなかったのですけれども、各町で災害に遭いました。

その災害の状態というのが段々風化されてしまって、記憶もおぼろげになってきております。その当時に生まれた子でいえば、もう成人式を迎えるという年齢になってまいります。

最近に至るところで風水害が起こっております。それに対処するためにも、やはり住民の意識というものが大切になってきます。清須市では、ハザードマップというものが、平成 20 年でしたか、その当時は群馬大学にみえた片田先生によって監修されて、立派なものできております。

その当時は、ハザードマップの話をするに「そんなものがあるのか」とか、そういう状態でした。去年の市民満足度調査の結果を見ますと、70%の市民の方はハザードマップというものを理解してみえると思います。消防団でも、自主防災会の防災訓練の時には、ハザードマップの見方や使い方を指導してまいりました。

それでもまだまだ、いざ災害となってくると「逃げ場はどうするのだ」とか、「消防団は助けてくれるのか」といった色々な意見が出ております。私が思うには、ハード面は充実されても、ソフト面ですね。それと、絶対に生きる、生命を大切に、人それぞれ自分は生き延びるのだという、それからまず考えなくてはいけないと思います。

それに関して、自主防災会でも色々な訓練をしますが、年々形骸化というのでしょうか、お年寄りばかりの防災訓練、自主防災の訓練になっております。もっと若い方、計画の中にもありますように、若い防災リーダーを育てていかななくてはなりません。

前期基本計画の時から比べて、現在地域防災リーダーの数は約3倍になっております。若い方の力を何とか利用して、自主防災会などを通じて、自らの命は自ら守るといふ、そういう体制づくりをこれからも強化していただきたいと思います。

水害のことばかり話をしましたが、今年の6月、美濃路の南二ツ杵で大火がございました。防火についても、まだまだ道が狭くて消防車が入れない地域がありますので、そういう整備もこれからは必要となってきます。

そういう面も色々考えて施策は出すのですが、実行するのは行政の方で、これからも一つ、若い世代の人づくりとか、まちの安全・安心をお願いしたいと思いますが、ともに手を携えて、市民と行政が一体となって防火に関してやっていきたいと思っておりますので、これからの行政の手腕を期待しております。本当にどうもありがとうございました。

(野田会長)

ありがとうございました。

続いて、前田委員、お願いします。

(前田委員)

前田でございます。よろしくお願いいたします。今回の総合計画の策定のメンバーに入れていただきまして、本当にありがとうございます。色々勉強になりました。

特に今回総合計画の中で、市民の方の関心というのは、公共交通に関しまして非常に関心が高いということがよく分かりました。

ですので、これから先ほども言われましたような高齢化社会になっていきます。公共交通というのは、昔は非常に便利で、路線バスがたくさんありました。それが車社会に入って行って、ちょうどバブルが弾けた、昭和 30 年頃のスタートから見ると、ちょうど我々が 80 歳前後になる年の時に、これは地域のバスが大事だということで公共交通の見直しが各地域でされたという歴史もございます。

そういった中で、今回は昭和 30 年、40 年からこの令和元年を一つの最初のサイクルとして、これからは令和 2 年、3 年とそのサイクルが続いていくということで、やはり我々としては、公共交通については時間をかけてやっていかなければならない行政の一つだと思っております。

ですから行政の方も、市民の方が市内で便利になるような公共交通を、ぜひともこれからも続けていっていただきたいというふうに、今回の総合計画の中で特に感じました。

そういった意味で、これからも市民が便利な、そして貢献できるような行政をしていっていただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

(野田会長)

ありがとうございました。

そうしましたら高山委員、お願いします。

(高山委員)

ありがとうございます。高山でございます。私は、まち・ひと・しごとの委員として、こちらの方に途中から参加させていただいておりますけれども、その他に行政改革推進委員会の委員の方もやらせていただいております。三つの住み分けというのがようやく分かってきたようなところでございます。そんなところで比較的意見も言いやすい立場にあるのかなと思いますけれども、話そうと思っていたことを、最後だからと思ってゆっくり考えていたら、皆様に言われてしまいましたので、重複するかとは思いますが、まち・ひと・しごとの会議だったか、行革の会議だったかかもしれませんが、市の計画の目玉は何だろう、よその市にはない目玉は何だろう、そんな話もあったかと思っております。

今日のパブリック・コメントの意見の中にも、後期計画の売りは何かを分かりやすく示してほしいというような意見があったかと思っておりますけれども、この後期計画は、総合計画の後期ですので大きく変えるわけにはいかないのですけれども、後期

計画を推進しながら、次期計画に向けて、清須市にしかできないような、思い浮かぶのは観光資源が思い浮かんでくるわけですが、それ以外にも色々あるかと思っておりますので、まさに人口が今のところ増加している、その間に何か次の計画に向けた目玉になるようなものを探っていければ良いのかなど、探っていただきたいなど、そんなことを思います。

もう一つは、先ほどパブリック・コメントの意見が4通しかなくて、それだけ平和なのかなということをおっしゃいましたが、先ほど防災の話、齋藤委員が色々とお話をされておりましたけれども、4通しかないということは、反対に考えれば危機管理意識とかって大丈夫なのかなという心配にもつながるわけですが、裏返せば、ですので、これもまた後期計画を推進していく中で、その辺りの意識というのはやはり、市民一人ひとりの意識を少しでも高めていくことから始めていかないとしょうがないのかなと思っておりますので、そんなところにもぜひ力を入れて進めていただければなと思っておりました。ありがとうございました。

(野田会長)

ありがとうございました。

そうしましたら水谷副会長、お願いします。

(水谷副会長)

今回は総合計画の後期基本計画ということで、私は特に参加の仕方、色々な方々、関係する方々、市民の方々にどう関わっていただくか、どうご意見をいただくかというその参加のプロセスについて、特に注力してというか、関わらせていただいたというふうに思っております。

本当に貴重な機会をいただいたと思っております。ありがとうございました。

この審議会では、各団体を代表する皆様方からそれぞれの貴重なご意見をいただいたと思っております。まち・ひと・しごと創生の方の会議でも、産業界の方、金融機関の方など色々な方々からご意見をお聞きいたしました。また、意識の高い方が集まった市民参画会議の方では、熱心な議論が繰り返されて、そういった意見もかなりベースとなるところで入っているというふうに思っております。

本当に様々な意見が出たのですけれども、それを事務局の皆様が悩み悩み、本当に頭を悩ませながら形にしていくことをされたので、本当に素晴らしいと思っております。

計画ができたので一安心といきたいところですが、これからが清須市を更に発展させていくということで大事だというふうにも思います。今後いかに多くの方々に関わっていただくかというところで、こちらの審議会のメンバーの皆様には、計画の策定だけではなく、ぜひ実行する際に協働のパートナーとして、また積極的に情報発信する、重要な情報発信者となっていただくなど、関わっていただけたら、

また素晴らしいのではないかなと思っております。

最後に、パブリック・コメントを拝見いたしました。非常に的確なというか、ありがたいコメントをいただいたなと思っております。私たちも一生懸命に参加を進めてきたのだけれども、もっとまちに出て意見を聞いて、情報発信をして、というふうなご意見をいただいておりますので、さらに積極的にまちに出ていくという、次のフェーズかなというふうに思いますが、計画推進の中では大事なことかなと思っております。

特にこれから、気候変動といった形で自然環境が変わってきて、災害なんかも起こりやすくなるかもしれないし、熱中症なんかも増えるかもしれません。そういった自然の変化が起こり続けていく、そして社会の変化も、高齢化していく、リニア効果というのも得られるかもしれない、そんなふうに社会も変わっていくという中で、福田委員がおっしゃったように、この総合計画を清須市がワンチームで推進していけたら素晴らしいのではないかなというふうに思います。

貴重な機会をいただきまして、本当にありがとうございました。清須市の皆様の今後のご活躍、ご発展を祈念いたしております。どうもありがとうございました。

(野田会長)

ありがとうございました。

最後に、私からも少し感想をお伝えしたいなと思います。不十分な司会だったのですけれども、私を除く 16 名の委員の方々にご協力いただきまして、しかも絶えず生産的な意見でご支援をいただきました。本当にどうもありがとうございました。

おおむね 1 年間でしたけれども、市としても伺いたいことはほぼ聞けたと思えますし、通常これくらいの規模の委員会になるとあまり議論できないのですけれども、割ときちんと議論できたなというのが、私なりの正直な感想です。

計画の中身も、中身として高度化していただいたということもございまして、誤っているところも、事務局ベースで十分にチェックできなかったところは絶えずチェックしていただきましたし、非常に良い計画になったのではないかなと思います。

お話をしていただいている中で印象的だったのが、この地域は恵まれているとか、人口を維持できているとか、良くなっているというご感想ですね。私もここに住んでいるわけではないのですが、本当に居心地の良い都市なのだろうなということを感じられるように思います。材料はほぼあるのではないかなと思います。まちづくりを行うにあたって、観光資源もありますし、その他の資源もありますし、都市的な魅力もありますし、自然資源もあります。人口も維持できているということですので、材料はありますので、あとはどう市民と一緒に考えていくのかなということだと思います。

これからの課題は、清須市だけではなくて、より深刻化していくというふうに言われています。高齢者の方々への対応というのでしょうか、状況も今後数十年かけて大分変わってくると思います。今の高齢の方々の所得の状況と、今後の高齢の方々の所得の状況というのは全く違う状況です。こういったことは、清須市だけの話ではないのですが、今後、課題はどんどん深刻化していく中で、絶えず市民とともに議論していく風土を持っているのが清須市ですので、これまでの市民との対話というのを、今後ますます深化していただきたいと思います。

そういう意味では、市民の方々もオーナーシップみたいな感覚を持っていますし、行政改革推進委員会であったり、あるいは市民満足度調査も行っていますし、さらに地域に出て市民と対話をして、市民と一緒に責任を取っていくような、そういうまちづくりを推進していただきたいと思います。

その意味で、いかに情報を提供していくのかというのが、今後の行政の課題だと思います。なかなか行政から様々な情報を事細かく提供しても、すぐには理解してもらえない。一方で、失敗したような情報を提供すると、責任を問われてしまうのではないかという危惧があったりします。でもこれからは、一緒に考えていくということですので、できる限り情報をきっちりと提供して、しかも分かりやすく提供して理解してもらおう。市民の方も責任を持って、市政のオーナーとして参画していくということが必要なのではないかなと思います。

私は地方自治が専門ですけれども、清須市の今回の仕事を一緒にさせていただく中で、実は大学でも清須市の話はかなりしています。市民満足度を一生懸命取って提供しているとか、あるいは、海外の行政学事典の執筆の際には、清須市が満足度を体系的に取り入れ、計画を遂行する先進的な都市であることを記載しています。

まさに地方自治をこれからどんどん進めていく都市のモデルになっていくような都市だと思っていますので、今後一生懸命頑張っていただきたいと思います。私もこれから学ばせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。どうもありがとうございました。

そうしましたら、今日皆様から色々ご意見をいただきました。来年度から、実際にこの後期基本計画に基づいた行政運営が推進されます。その中で、今回の委員の皆様のご意見も踏まえて推進していただければと思います。

本当に長い間、どうもありがとうございました。

以上をもちまして、総合計画審議会を終了したいと思いますので、事務局にお返ししたいと思います。

どうもありがとうございました。

6 閉会

(後藤企画政策課長)

委員の皆様におかれましては、昨年の7月から長期間にわたりご審議を賜りまし

て、誠にありがとうございました。

なお、清須市第2次総合計画の後期基本計画につきましては、この後、12月末に策定を予定しております。

また、来年の3月までに冊子を作成して、委員の皆様へ配付させていただきますので、よろしくご承知おきください。

それでは、以上をもちまして清須市総合計画審議会を終了いたします。

今後とも市政運営にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本日はお疲れ様でございました。

問い合わせ先	企画部 企画政策課 電話 052-400-2911 (内線3251)
--------	---------------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

署名委員 渡辺 玲子

署名委員 山田 康博